



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	松井安信教授研究業績
Citation	經濟學研究, 35(3)
Issue Date	1986-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/31699
Type	other
File Information	35(3)_Piii-iv.pdf



松井安信教授 研究業績

著 書

- 『福岡県金融史』（共著）西日本相互銀行 昭和29年12月
 『石炭鉱業離職者の生活実態』（共著）福岡県 昭和34年12月
 『イングランド銀行券の二重性に関する研究』（博士論文）北大生協プリント 昭和39年2月
 『信用貨幣論研究』日本評論社 昭和45年1月
 『マルクス信用論と金融政策』ミネルヴァ書房 昭和48年10月
 『信用と外国為替』（編著）ミネルヴァ書房 昭和53年2月
 『金融資本論研究』（編著）北海道大学図書刊行会 昭和58年6月

論 文

- 「安定恐慌下の九州経済」『九州経済調査月報』第5巻第5号 昭和26年5月
 「銀行学派の物価変動理論」『経済学研究』（九州大学）第18巻第1号 昭和27年7月
 「金融機関よりみた産業合理化の進展」『銀行論叢』第46巻第7, 8, 9号 昭和27年7, 8, 9月
 「物価変動及び銀行機能の研究」『経済学研究』（九州大学）第18巻第4号 昭和28年3月
 「通貨論争——その歴史的背景」『西南学院大学論集』第5巻第2号 昭和28年12月
 「英国における株式銀行の成立」『西南学院大学商学論集』第1巻第1号 昭和30年2月
 「金融資本」について 同上 第1巻第2号 昭和30年3月
 「九州金融史の一齣」(1) 同上 第2巻第2号 昭和31年2月
 「九州金融史の一齣」(2) 同上 第3巻第1号 昭和31年7月
 「貨幣構造の変遷をめぐる諸問題」(1) 同上 第3巻第3号 昭和32年3月
 「貨幣構造の変遷をめぐる諸問題」(2) 同上 第4巻第1号 昭和32年7月
 「組織資本主義」の問題点(1)『金融経済』第51号 昭和32年10月
 「組織資本主義」の問題点(2) 同上 第52号 昭和32年12月
 「ケインズ管理通貨論の一考察」『西南学院大学商学論集』第4巻第2・3号 昭和33年3月
 「国家信用と再生産——資本主義の「一般法則」の具体化」 同上 第5巻第3号 昭和34年3月
 「現下の炭鉱不況と地方財政の危機」 同上 第6巻第1・2号 昭和34年12月
 「いわゆる「段階論」の再検討」 同上 第6巻第3号 昭和35年6月
 「信用貨幣の形態転化」(1) 同上 第7巻第2号 昭和35年12月
 「信用貨幣の形態転化」(2) 同上 第8巻第1号 昭和36年7月
 「アメリカ金融制度論」(1)『西南学院大学紀要』第1号 昭和36年9月
 「石炭産業の悩み」『変りゆく筑豊』（光文館）所収 昭和36年12月
 「銀行券の「転化」問題」(1)『経済学研究』（北海道大学）第12巻第3号 昭和37年9月
 「銀行券の「転化」問題」(2) 同上 第13巻第1号 昭和38年7月
 「利子率の変動と貸付貨幣資本」 同上 第13巻第3・4号 昭和39年1月
 「貨幣と貨幣制度」『金融論講座』第1巻（有斐閣） 昭和39年12月

- 「現代物価論の問題点」『経済学研究』（北海道大学）第15巻第2号 昭和40年9月
- 「公債発行の今日的意義」『税経セミナー』第10巻第13号 昭和40年12月
- 「貨幣数量説はいかに克服されるべきか」『バンキング』第221号 昭和41年8月
- 「金融政策の動向と論理」『税経セミナー』第11巻第10号 昭和41年9月
- 「金融政策の古典吟味」『金融学会報告』第22号 昭和41年10月
- 「利子率変動論と金利政策」『金融経済』第102号 昭和42年2月
- 「国家独占資本主義と財政金融政策」『唯物史観』第5号 昭和42年2月
- 「景気循環——信用貨幣と準備金」伊藤俊夫教授還歴記念論文集『金融と経済の諸問題』所収 昭和44年1月
- 「景気循環と信用」岡橋 保編『金融論体系』所収 昭和44年2月
- 「ドル危機と労働問題」『北海道自治研究』第12号 昭和45年1月
- 「炭鉱閉山と産炭地域経済」『産炭地域の現状と振興』（北海道）昭和45年8月
- 「ガルブレイスの「産業国家論」」『体系 国家独占資本主義』第1巻（河出書房）所収 昭和45年11月
- 「信用貨幣の本質と「資本論」の方法」飯田 繁教授還歴記念『インフレーションの基礎』所収 昭和45年11月
- 「自由化と円切上げ」『北方農業』第21巻第11号 昭和46年1月
- 「現代インフレーションと国民生活」(1)『北海道自治研究』第67号 昭和49年8月
- 「現代インフレーションと国民生活」(2) 同上 第68号 昭和49年9月
- 「信用論」動態化の方法『経済研究』（一橋大学）第26巻第3号 昭和50年7月
- 「いわゆる「福祉金融」について」『25年のあゆみ』（北海道労働金庫）昭和51年12月
- 「不換銀行券論」川合一郎教授還歴記念『現代信用論』上（有斐閣）所収 昭和52年12月
- 「公信用と信用制度」『経済学研究』（北海道大学）第28巻第1号 昭和53年2月
- 「公信用と信用制度再論——荒牧正憲教授に答う——」同上 第30巻第4号 昭和55年3月
- 「国鉄再建」についての見解と提言（道政調査会）（単行本）昭和55年11月
- 「銀行信用」信用理論研究会編『信用論研究入門』（有斐閣）所収 昭和56年9月
- 「高山 満教授のヒルファディング恐慌論」『信用理論研究』第1号 昭和58年7月
- 「『資本論』の二つの課題」『唯物史観』第25号 昭和58年11月
- 「現段階の恐慌の特質——大内・スタグフレーションと関連して——」同上 第26号 昭和60年6月

辞 典

- 「貨幣史・金銀比価」『経済学辞典』（岩波）昭和40年9月
- 「貨幣発達史」『社会科学大事典』（鹿島研究所出版会）昭和43年5月
- 「金融政策」『大月経済学辞典』昭和54年4月

書 評

- 「飯田繁『インフレーションの理論』」掲載誌不明
- 「同上『商品と貨幣と資本』」『岐阜経済大学論集』第15巻第3号 昭和56年9月
- 「『川合一郎著作集』——川合理論の先駆的業績とその発展のために」『書斎の窓』（有斐閣）昭和56年9月